

製品安全データシート

Version 1	パワーフォワードSC	作成日: 2022年10月24日 ページ: -1/5-
1. 製品及び会社情報		
製品名	パワーフォワード SC	
推奨用途及び使用上の制限	農薬	
会社名および連絡先	株式会社理研グリーン 開発部 企画開発課 東京都台東区東上野 4-8-1 TEL03-6802-8587 FAX03-6802-8303	
2. 危険有害性の要約		
GHS 分類		
物理化学的危険性	火薬類 可燃性・引火性ガス 可燃性・引火性エアゾール 支燃性・酸化性ガス類 高压ガス 引火性液体 可燃性固体 自己反応性化学品 自然発火液体 自然発火固体 自己発熱性化学品 水反応可燃性化学品 酸化性液体 酸化性固体 有機過酸化物 金属腐食性物質	分類できない 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類対象外 分類できない 分類対象外 分類できない 区分外 分類対象外 分類できない 区分外 分類できない 分類対象外 分類対象外 分類できない
健康に対する有害性	急性毒性(経口) 急性毒性(経皮) 急性毒性(吸入:ガス) 急性毒性(吸入:蒸気) 急性毒性(吸入:粉じん及びミスト) 皮膚腐食性・刺激性 眼に対する重篤な損傷・眼刺激性 呼吸器感作性 皮膚感作性 生殖細胞変異原性 発がん性 生殖毒性 特定標的臓器・全身毒性(単回暴露) 特定標的臓器・全身毒性(反復暴露) 吸引性呼吸器有害性	区分外 区分外 分類対象外 分類できない 区分外 区分外 区分外 分類できない 区分外 分類できない 分類できない 区分2(中枢神経、腎臓) 分類できない 分類できない
環境に対する有害性	水生環境急性有害性 水生環境慢性有害性	区分外 区分外
GHS ラベル要素	絵表示又はシンボル	
		
注意喚起語	警告	
危険有害性情報	中枢神経系、腎臓の障害おそれ	

製品安全データシート

Version 1	パワーフォワードSC	作成日: 2022年10月24日 ページ: -2/5-
注意書き 安全対策	粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。 取り扱い後は手をよく洗うこと。	
応急措置	暴露または暴露の懸念がある場合: 医師に連絡すること。	
保管	施錠して保管すること。	
廃棄	内容物、容器を都道府県知事の許可を受けた専門の廃棄物処理業務に業務委託すること。	
3. 組成及び成分情報		
単一製品・混合物の区分	混合物	
化学名又は一般名	3-[1-(3,5-ジクロロフェニル)-1-メチルエチル]-3,4-ジヒドロ-6-メチル-5-フェニル-2H-1,3-オキサジン-4-オン(一般名: オキサジクロメホン)	
濃度及び濃度範囲	30%(5%はエチレングリコール(CAS number: 107-21-1)、65%は水、界面活性剤等)	
分子式、分子量	C ₂₀ H ₁₉ Cl ₂ NO ₂	
CAS 番号	153197-14-9	
分類に寄与する不純物及び安定化添加物	データなし	
4. 応急処置		
吸入した場合	被災者を直ちに空気の新鮮な場所に移動させる。多量の水、温水またはうがい薬を用いてうがいをさせ医師の手当を受ける。	
皮膚に付着した場合	直ちに水で洗い流した後、石鹼でよく洗う。洗浄後、皮膚に異常がある場合は医師の手当てを受ける。衣服類は汚染物を洗い落して着用する。	
目に入った場合	清浄な水で15分以上洗顔した後、痛みがあれば眼科医の手当てを受ける。	
飲み込んだ場合	意識のある場合は吐き出させ直ちに医師の手当てを受ける。吐き出すことが困難な場合は無理に吐き出させようとはならない。	
5. 火災時の措置		
消火剤	粉末消火剤、二酸化炭素、泡、砂など	
使ってはならない消火剤	データなし	
特有の危険有害性	燃焼時には有害ガスのおそれがある。	
消火を行う者の保護	消火作業の際には呼吸装置を着用して、消火剤で消火作業を行う。	
6. 漏出時の措置		
人体に対する注意事項、保護具及び緊急措置	処理作業の際には保護具を着用し、直接触れないように注意して作業する。	
環境に対する注意事項	漏出した物質が河川、湖沼、海域及び養殖池、植栽地、畑作地に飛散、流入しないように注意する。	
回収・中和	床面などにこぼれた場合は直ちに拭きとり密閉容器に収納する。	
二次災害の防止策	飛散した場所の周辺にはロープを張るなどして、人の立ち入りを禁止する。風下では作業しない。	
7. 取扱い及び保管上の注意		
取扱い		
技術的対策	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。	
局所排気・全体換気	「8. 暴露防止及び保護措置」に記載の局所排気、全体換気を行うこと。	

製品安全データシート

Version 1	パワーフォワードSC	作成日: 2022年10月24日 ページ: -3/5-
安全取扱い注意事項	ラベルを良く読むこと。 吸い込んだり、目や皮膚に触れないよう長袖の作業衣、保護メガネ、不浸透性手袋、農業用マスクを着用して、できるだけ風上から作業をするようにする。作業は手足、顔等を石鹸でよく洗い、うがいをすると共に衣服を交換する。	
接触回避	「10. 安定性及び反応性」を参照。	
保管	特に技術的な対策は必要としない。	
技術的対策	「10. 安定性及び反応性」を参照。	
混触禁止物質	「10. 安定性及び反応性」を参照。	
保管条件	密封し直射日光を避け、食品と区別して冷涼・乾燥したところに保管する。	
容器包装材料	データなし。	
8. 暴露防止及び保護措置		
許容濃度	ACGIH 設定されていない。 日本産業衛生学会 設定されていない。	
設備対策	局所排気装置の設置、設備の密閉化、または、全体換気を適正に行うことが望ましい。	
保護具		
呼吸器の保護具	農業用マスク	
手の保護具	不浸透性手袋	
眼の保護具	保護メガネ	
皮膚及び体の保護具	定められた作業衣、安全靴を着用する。	
9. 物理的・化学的性状		
形状	粘稠懸濁液体	
色	類白色	
臭い	データなし	
pH	7.2 (1% 懸濁液)	
融点・凝固点	データなし	
沸点、初留点及び沸騰範囲	データなし	
引火点	データなし	
爆発範囲	データなし	
蒸気圧	データなし	
蒸気密度	データなし	
密度(比重)	1.14 (22℃)	
溶解度	データなし	
オクタノール/水分配係数	データなし	
自然発火温度	データなし	
分解温度	データなし	
10. 安定性及び反応性		
安定性	通常の手扱い条件において安定	
危険有害反応可能性		
避けるべき条件	データなし	
混触危険物質	データなし	
危険有害な分解生成物	データなし	
11. 毒性情報		
急性毒性		
経口	ラット(♂♀) LD50 > 5,000 mg/kg (上記データより区分外とした)	
経皮	ラット(♂♀) LD50 > 2,000 mg/kg (2,000mg/Kg の試験において、死亡又は毒性が確認されなかったため、区分外とした)	

製品安全データシート

Version 1	パワーフォワードSC	作成日: 2022年10月24日 ページ: -4/5-
吸入(ミスト)	ATE 値 > 15.11 mg/L(毒性未知成分 17.7%) (混合物のデータはなく、ATE 算出値より区分外とした)	
皮膚腐食性・刺激性		
皮膚刺激性	ウサギ 刺激性なし (上記データより区分外とした)	
眼に対する重篤な損傷	眼 刺激性 ウサギ 刺激性なし (上記データより区分外とした)	
感受性		
呼吸感受性	データがないため分類できないとした。	
皮膚感受性	モルモット 軽度な感受性 (上記データより区分外とした)	
特殊毒性		
生殖細胞変異原性	混合物のデータはない。本混合物の 87.2%の成分は区分外であるが、毒性未知成分 12.8%を含有しているため、分類できないとした。	
発がん性	混合物のデータはない。本混合物の 82.2%の成分は区分外であるが、毒性未知成分 17.8%を含有しているため、分類できないとした。	
生殖毒性	混合物のデータはない。本混合物の 87.2%の成分は区分外であるが、毒性未知成分 12.8%を含有しているため、分類できないとした。	
特定標的臓器・全身毒性(単回暴露)	混合物のデータはない。区分 1(中枢神経系、腎臓)に分類された成分を濃度限界 1.0%以上 10.0%未満含有しているため、区分 2(中枢神経、腎臓)とした。毒性未知成分 12.8%を含有。	
特定標的臓器・全身毒性(反復暴露)	混合物のデータはない。本混合物の 82.2%の成分は区分外であるが、毒性未知成分 12.8%を含有しているため、分類できないとした。また、区分 2(中枢神経、腎臓)に分類された成分を 5.0%含有するが濃度限界 10.0%未満。	
吸引性呼吸器有害性	データがないため、分類できないとした。	
12. 環境影響情報		
生態毒性		
水産動植物に対する影響	コイ LC50 > 1,000 mg/L(96 時間) オオミジンコ EC50 886 mg/L(48 時間) 藻類 ErC50 170 mg/L(0-72 時間) (水生環境毒有害毒性(急性)は上記データから、区分外とした) (水生環境毒有害毒性(慢性)は急速分解性を示すデータがないが、急性区分が区分外であることから、区分外とした)	
残留分解性	データなし	
生態蓄積性	データなし	
土壤中の移動性	データなし	
13. 廃棄上の注意		
残余廃棄理	廃棄においては、関連法規ならびに地方自治体の基準に従うこと。	
汚染容器及び包装	農薬の空容器、空袋等の処理は、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」等関連法律を遵守し、適切に行う。	
14. 輸送上の注意		
国際法規		
海上規制情報	該当しない	
航空規制情報	該当しない	
国連番号	該当しない	
国連分類	該当しない	

製品安全データシート

Version 1	パワーフォワードSC	作成日: 2022年10月24日 ページ: -5/5-
容器等級	該当しない	
海上汚染物質	該当しない	
国内規制		
陸上規制情報	該当しない	
海上規制情報	該当しない	
航空規制情報	該当しない	
特別安全対策	包装、容器が破損しないように水濡れや乱暴な扱いを避ける。	
15. 適用法令		
農薬取締法	登録番号第 24619 号	
化学物質管理促進法 (PRTR)	第 1 種指定化学物質 政令番号 172 オキサジクロメホン 30.0% (2023 年 4 月 1 日より第 1 種指定化学物質 政令番号 199)	
労働安全衛生法	第 57 条の 2 第 1 項名称等の通知対象物質 政令番号 75 エチレングリコール	
16. その他情報		
<ol style="list-style-type: none"> 1. 本資料の記載内容は現時点で入手できる資料、情報、データに基づいて作成されており、記載内容は知見により訂正されることがあります。 2. 記載の注意事項は通常の取扱いを対象とした参考情報です。取扱いの際は用途・用法に適した安全対策を実施してください。 3. 本資料は情報提供の目的のために作成されたものであり、その記載内容を保証するものではありません。 		